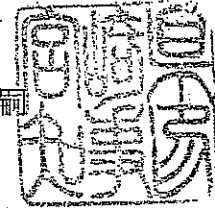


215-1310

平成29年2月3日

宮崎県教育委員会 殿

宮崎県知事 河野 俊 嗣



県議会に提出する教育に関する事務に係る議案について（照会）

このことについて、下記のとおり議案を作成したいので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により意見を求めます。

記

1 議案名

- 議案第1号 平成29年度宮崎県一般会計予算
- 議案第14号 平成29年度宮崎県立学校実習事業特別会計予算
- 議案第15号 平成29年度宮崎県育英資金特別会計予算
- 議案第23号 知事等の給与及び旅費に関する条例等の一部を改正する条例
- 議案第37号 公立大学法人宮崎県立看護大学の設立に伴う関係条例の整理に関する条例
- 議案第39号 宮崎県育英資金貸与条例の一部を改正する条例
- 議案第49号 平成28年度宮崎県一般会計補正予算（第8号）
- 議案第60号 平成28年度宮崎県育英資金特別会計補正予算（第1号）

2 提出する県議会

平成29年2月定例県議会

（文書取扱 財政課）

(議案第1号)
平成29年度宮崎県一般会計予算

(議案第14号)
平成29年度宮崎県立学校実習事業特別会計予算

(議案第15号)
平成29年度宮崎県育英資金特別会計予算

(▲は、マイナス)【単位：千円】

会計	所 属	29年度 当初予算	28年度 当初予算	増減額	対前年比	主 な 増 減 内 容
一 般 会 計	総 務 課	3,135,631	3,250,081	▲ 114,450	96.5%	教育研修センター費 (▲142,941)
	財 務 福 利 課	7,428,696	7,185,516	243,180	103.4%	維持管理費 (158,238) 教職員住宅費 (▲25,977) 高等学校就学支援事業費 (44,696) 海洋高校実習船費 (22,000)
	学 校 政 策 課	590,687	567,622	23,065	104.1%	県立高等学校再編整備費 (41,653) 学力向上推進費 (▲15,916)
	特別支援教育室	132,534	106,487	26,047	124.5%	県立特別支援学校整備費 (34,209) 特別支援教育振興費 (▲8,162)
	教 職 員 課	95,091,940	93,909,151	1,182,789	101.3%	退職手当費 (841,148) 学校職員費 (294,894)
	生 涯 学 習 課	544,843	543,796	1,047	100.2%	成人青少年教育費 (▲11,588) 美術館費 (8,050)
	ス ポ ー ツ 振 興 課	982,092	994,104	▲ 12,012	98.8%	体育大会費 (▲22,267) 体育振興助成費 (8,691) 競技力向上推進事業 (6,723)
	文 化 財 課	620,310	719,258	▲ 98,948	86.2%	埋蔵文化財保護対策費 (▲158,957) 博物館費 (51,719) 考古博物館費 (12,197)
	人権同和教育室	9,739	9,244	495	105.4%	人権教育連絡調整費 (513)
	合 計	108,536,472	107,285,259	1,251,213	101.2%	
特 別 会 計	財 務 福 利 課	259,244	208,369	50,875	124.4%	県立学校実習事業
	財 務 福 利 課	1,123,029	1,275,550	▲ 152,521	88.0%	育英資金
	合 計	1,382,273	1,483,919	▲ 101,646	93.2%	
	総 計	109,918,745	108,769,178	1,149,567	101.1%	

平成29年度当初予算 新規・改善事業一覧

(単位：千円)

番号	課(室)名	事業名	事業費	説明
1	学校政策課	・宮崎県キャリア教育推進事業	5,653	
2	学校政策課	・みやざきサイエンティスト育成事業	10,994	
3	学校政策課	・学校の教育相談体制充実のための外部専門家活用事業	50,240	○
4	学校政策課	・地域に貢献できる環境教育推進事業	4,208	
5	学校政策課	・高校生の県内企業理解・職場定着推進事業	25,924	○
6	学校政策課	・みやざき産業人財育成事業	4,108	○
7	学校政策課	・定時制・通信制ひろがる夢支援事業	6,973	○
8	学校政策課	・県立学校を拠点とした芸術文化体験プログラム事業	4,180	○
学校政策課計			112,280	
9	教職員課	・学び続ける教職員のキャリア形成推進事業	3,861	
教職員課計			3,861	
10	生涯学習課	・「日本一の読書県」を目指した総合推進事業	22,404	○
11	生涯学習課	・ワクワクアート アーティストがやってきた！事業	4,510	○
生涯学習課計			26,914	
12	スポーツ振興課	・体育学習サポート推進事業	5,668	
13	スポーツ振興課	・健やかな心と体を育む健康教育推進事業	3,774	
14	スポーツ振興課	・女性アスリート強化対策事業	5,732	○
15	スポーツ振興課	・めざせ全国制覇！甲子園優勝サポート強化事業	4,377	○
スポーツ振興課計			19,551	
16	文化財課	・ひなた文化資源創出事業（文化財を活用した地域づくり）	3,396	○
17	文化財課	・みやざきの古墳保護・活用事業	3,997	
文化財課計			7,393	
計			169,999	

㊦ 学校の教育相談体制充実のための外部専門家活用事業

1 事業の目的・背景

教育相談体制を支援する専門家を公立学校に配置・派遣する体制を充実させ、いじめや不登校等の問題の解決を図るとともに、学校だけでは解決困難な事案への迅速な対応を行う。

2 事業の概要

(1) 予算額 50,240千円

(2) 財源 一般財源 33,493千円
国庫支出金 16,747千円

(3) 事業期間 平成29年度～平成31年度

(4) 事業内容

① スクールカウンセラー（SC）体制拡大

ア 県立学校への配置

- ・ 県内4エリアの拠点校にSCを各1名配置
- ・ 県立学校の教育相談担当教員の資質向上のための指導

イ 中学校の配置校増

配置校数を79校から83校に増

② SCの資質向上

SCの資質向上を目指した連絡協議会の開催

(スクールソーシャルワーカー等との合同連絡協議会と併せて実施)

③ いじめ問題の解決に向けた支援チームの設置・派遣

学校だけでは解決困難ないじめ問題が発生した際、緊急支援チームを学校に派遣し、調査・検証、支援を実施

3 事業効果

(1) SCの県立学校への配置及び中学校の配置校の増により、各学校で起きる様々な生徒指導上の問題に的確に対応し、早期に解決に導くことが期待できる。

(2) 国が推進する「チーム学校」の専門スタッフとして役割を分担することで、教職員の負担軽減につながる。

㊦ 高校生の県内企業理解・職場定着推進事業

1 事業の目的・背景

県内就職率の向上と職場定着を図るため、県内8地域において、高校と産業関係団体等のネットワークを強化し、生徒・保護者・教職員が県内就職への関心を高め、県内企業の魅力を理解するための取組等を実施する。

2 事業の概要

(1) 予算額 25,924千円

(2) 財源 地方創生推進交付金 12,962千円
県営電気事業みやざき創生基金 12,962千円

(3) 事業期間 平成29年度

(4) 事業内容

① 企業と高校のネットワーク強化

- ・県立高校と産業関係団体、行政等とのつながりを強化するための「就職支援エリアコーディネーター」を県内8地域に配置
- ・エリアネットワーク会議を各地域で開催

② 生徒と企業の出会いの場の提供

- ・職業系高校3年生を対象とした企業見学会の実施
- ・工業科の高校1、2年生を対象とした企業見学会の実施

③ キャリア教育の支援

- ・インターンシップや企業見学、講師派遣が可能な企業の拡充と活用
- ・実践的な技能・技術を身に付けるためのインターンシップ等の実施

④ 保護者に対する情報提供

各地域で保護者対象の企業見学会を実施するとともに、体感した企業の魅力などの情報を参加者以外の保護者にも発信

3 事業効果

- (1) 高校と企業が連携できる環境が確立され、各地域で県内企業理解に向けた取組が継続できる。
- (2) 就業先として早期に県内企業を意識させることで、県内就職率の向上が期待できる。
(目標値 県内就職率65.0% H32.3)
- (3) 県内企業の魅力を保護者に伝えることで、生徒が就職先を決定する際の後押しが期待できる。

㊦ みやざき産業人財育成事業

1 事業の目的・背景

県立高校の職業学科等の生徒が、将来、宮崎で自分の力を発揮したいという志を高めるため、他学科や他校と連携・協働して県産食材などの地域資源を活用した新たな商品開発等に取り組む。

また、地域の産業界と連携し、生徒の専門力を強化することにより、即戦力となる産業人財を育成する。

2 事業の概要

(1) 予算額 4,108千円

(2) 財源 全額一般財源

(3) 事業期間 平成29年度～平成31年度

(4) 事業内容

- ① 専門分野の横断的研究により地域課題の解決等に挑戦する取組
 - ア 地域課題の解決や地域の魅力を掘り起こす合同研修会等
合同研修会（5月）、各校における研究（5月～2月）、成果報告会（2月）
 - イ 他学科の学びを取り入れた新たな価値を生み出すものづくり
- ② 地域資源の活用を目指す取組
 - ア 地域資源の活用を目指す商品やサービスの開発
（例）地元産業界と連携した商品開発、県産食材を活用したメニューの研究等
 - イ 高度な技能などを持つ地域人材を活用した講習会等の実施
- ③ 高い専門力を備えた産業人財の育成
 - ア 先端技術や最新設備を有する企業等への現場見学
 - イ 福祉科生徒の介護技術向上に向けた研究
 - ・高齢者福祉施設における長期実習
 - ・介護技術コンテストに向けた研究
- ④ 先端技術等を身に付けた指導者の育成
教職員を対象とした先端技術講習会等の実施
（例）畜産技術、測量技術講習会への参加、介護技術指導力向上のための施設実習

3 事業効果

- (1) 地域資源を主体的に活用する取組等を通じて、生徒が改めて宮崎の魅力や価値に気付くことにより、県内企業への就職に向けた気運の醸成を図ることができる。
- (2) 生徒が通常の授業のみでは学ぶことが困難な技術や知識を習得することができる。

㊦ 定時制・通信制ひろがる夢支援事業

1 事業の目的・背景

現在、不登校や相談室登校を経験した生徒が増加傾向にあり、このような様々な学習歴を持つ生徒の学習を支援する環境として、定時制・通信制高校の重要性がますます高まっている。生徒が他者との交流経験を通して自己肯定感や主体的に学校生活を送る態度を身に付けるとともに、自分自身の生き方在り方をみつめる中で職業観を広げ、社会的な自立が図れるよう支援する。

2 事業の概要

(1) 予算額 6,973千円

(2) 財源 全額一般財源

(3) 事業期間 平成29年度～31年度

(4) 事業内容

① 生徒生活体験発表大会及び文化・スポーツ交流支援

定時制・通信制で学ぶ生徒が一堂に会するコミュニケーション能力を高めるための生活体験発表大会及び文化の集い(10月)、スポーツ交流会(6月)の実施

② 生徒支援相談員の配置

多様な生徒の心のケアや悩みの相談にあたる生徒支援相談員(ハートサポーター)の配置(定時制課程5校、通信制課程2校に各1名)

③ 通信制学習支援センター運営

単位修得登録をしていない生徒や、通信教材で自学学習の滞りがちな生徒に対する学習支援センターの運営

④ 職業観を広げる取組

定時制・通信制卒業生の経営者等による講演会や研修会の実施

3 事業効果

(1) 生徒間の連帯感の深まりやコミュニケーション能力の育成、生徒の心のケアや学習支援等へのきめ細かな支援を通じて、生徒や学びのニーズの多様化に応えることができる。

(2) 卒業生の講演等を通じて、生徒の職業観の醸成や進路実現への意欲向上につなげることができる。

㊦ 県立学校を拠点とした芸術文化体験プログラム事業

1 事業の目的・背景

主に高校生を対象としたハイレベルな芸術鑑賞事業を展開することにより、生徒が生涯にわたって芸術文化に親しみ、豊かな心を育むことを目指す。

また、実施対象となる県立学校が近隣中学校や地域の方々に鑑賞を呼びかけることにより、中高連携や学校理解につなげるなど、県立学校が芸術文化体験の拠点として「連携し、支え合い、つながる」プログラムを考案・実施することで、地域活性化に貢献する。

2 事業の概要

(1) 予算額 4,180千円

(2) 財源 全額一般財源

(3) 事業期間 平成29年度～平成31年度

(4) 事業内容

① プロフェッショナル・コンサート〔4公演〕

日本音楽を含む各種音楽や舞台芸術で、我が国を代表する出演者による少人数編成の音楽公演及び舞台公演を実施

② 日本のこころに親しむ(古典芸能公演)〔4公演〕

狂言などの古典芸能で、人間国宝などの出演者による舞台公演を実施

3 事業効果

(1) 生徒が本物の芸術文化に触れることで、社会を生き抜く基盤となる豊かな心を育むことができる。

(2) 高度な芸術の鑑賞やワークショップ等を通じて、生徒が自分自身の在り方を考える機会にできる。

(3) 近隣中学校や地域住民の参加を通じて、県立学校と地域社会との一体感が醸成され、相互理解や協働に向けた様々な活動につなげることができる。

県立特別支援学校整備事業

1 事業の目的・背景

児童生徒の増加や障がい程度の重度・重複化、多様化による教室不足や長時間通学に対応するため、新たに教室等の整備を行うことにより、児童生徒への負担軽減を図る。

2 事業の概要

(1) 予算額 34,209千円

(2) 財源 全額一般財源

(3) 事業期間 平成29年度

(4) 事業内容

① 教室整備

教室不足が特に顕著な都城きりしま支援学校と日向ひまわり支援学校に、新たに教室を整備（平成29年度に設計、30年度に本体工事予定。軽量鉄骨構造による整備）

② スクールバスの増便

長時間通学が課題となっている日南くろしお支援学校と近年児童生徒が急増しているみなみのかぜ支援学校にそれぞれ1台のスクールバスを増便

3 事業効果

(1) 教室が増えることにより、間仕切り等で対応している現状を改善することができ、ゆとりのある環境で児童生徒が安心して学習に取り組むことができる。

(2) 日南くろしお支援学校では、串間市からの直行便の運行により長時間通学が解消される。また、みなみのかぜ支援学校では、児童生徒の増加への対応が可能となり、児童生徒の通学の負担軽減を図ることができる。

㊦ 「日本一の読書県」を目指した総合推進事業

1 事業の目的・背景

県立図書館や学校、家庭、地域等との連携による全県的な事業を展開し、子どもから大人まで、生涯にわたって読書に親しむ環境づくりを推進することで、「日本一の読書県」を目指す。

2 事業の概要

(1) 予算額 22,404千円

(2) 財源 全額一般財源

(3) 事業期間 平成29年度～平成31年度

(4) 事業内容

① 啓発に関する事業

- ・読書活動推進に関する公募制による県民提案型モデル事業の実施
- ・県民への周知・啓発を図る講演会の開催
- ・「子ども読書活動推進計画」を含む生涯読書活動推進計画の策定
- ・高校生ビブリオバトルの実施（本を紹介し合い、最も読みたい本を聴衆が選ぶ催し）

② 人財育成に関する事業

- ・県民ニーズに対応するためのサービス向上等資質向上研修の実施
- ・市町村立図書館及びへき地学校図書館等への運営助言（実地指導）のための講師派遣

③ 環境整備に関する事業

- ・県立学校司書エリアコーディネーターの配置（6名）
- ・県民のニーズに即応した迅速な新図書流通システムの継続運用
- ・図書館未設置自治体等への図書セット貸出

3 事業効果

- (1) 多角的な啓発を行うことにより、県民の読書に対する機運の醸成が図られる。
- (2) 多様な研修等の実施により、専門的な知識を有した人財を育成することで学校や地域での読書活動推進が図られる。
- (3) 新図書流通システムの継続運用により、県民のニーズに即応した貸出が可能になるとともに、県立図書館を利用することが困難な市町村（遠隔地等）における読書環境等が向上し、より多くの県民が読書に親しむ環境の整備充実が図られる。

㊦ ワクワクアート アーティストがやってきた！事業

1 事業の目的・背景

県民が文化芸術に親しむ機会のより一層の充実と、アートを通じた地域活性化を図るため、注目度が高く、幅広い年代に共感を得る表現やワークショップ的な活動にも取り組める気鋭の美術作家を招聘し、学校・公共施設・商店街等を拠点として児童生徒や地域内外の人とともに創作活動を行う。

2 事業の概要

- (1) 予算額 4,510千円
- (2) 財源 全額一般財源
- (3) 事業期間 平成29年度～平成31年度

(4) 事業内容

- ① 学校や学校近隣の公共施設及び商店街など、児童生徒が参加しやすい場所を会場にして、保護者や地域内外の人を巻き込みながら創作活動を行う。
- ② 完成作品は、地域に長く残して、地域の活性化につながる文化的資源として活用する。
- ③ 地域の活動のみで終わらず、地域と県立美術館相互の人の流れを創出する仕組みを設定する。(例：美術館での作家の講演会等の実施、活動の記録映像の活用等)

3 事業効果

- (1) 地域住民が文化芸術をより身近なものとして実感できるとともに、地域の文化活動の拡充を図ることができる。
- (2) 活動内容や地域の魅力を広く情報発信することで、新たな文化資源を活用した地域振興につなげることができる。

㊦ 女性アスリート強化対策事業

1 事業の目的・背景

2巡目国体を見据え、女性アスリートの競技力向上を図るため、ふるさと選手や有望選手に対する遠征費等の支援をはじめ、大会参加にあたっての課題解決のためのサポートなどを行う。

2 事業の概要

(1) 予算額 5,732千円

(2) 財源 全額一般財源

(3) 事業期間 平成29年度～平成31年度

(4) 事業内容

① 女性選手強化支援の促進

ア 選抜チーム練習会の充実を図るためのふるさと選手への支援

・実施主体 (公財)宮崎県体育協会(補助率 定額)

イ 少年種目の強化を図るための県内高校有望選手への支援

・実施主体 宮崎県高等学校体育連盟(補助率 定額)

ウ 県外遠征・強化合宿への支援

・実施主体 (公財)宮崎県体育協会(補助率 定額)

エ 国体新種目に係る強化費の支援

・実施主体 (公財)宮崎県体育協会(補助率 定額)

② サポート体制の充実

大会や遠征等に参加しやすくなるための保育士の派遣等

・実施主体 (公財)宮崎県体育協会(補助率 定額)

3 事業効果

(1) ふるさと選手への支援を強化することにより、成年女子の競技力向上が期待できる。
また、県内高校有望選手への支援の拡充を行うことにより、少年女子の競技力向上が期待できる。

(2) 女性アスリートのサポート体制を充実することにより、大会や遠征等に参加しやすい環境を整えることができる。

㊦ めざせ全国制覇！甲子園優勝サポート強化事業

1 事業の目的・背景

県民の悲願である甲子園優勝を目指し、引き続き、チームサポートを行うとともに、選手の育成・強化を充実させる。

2 事業の概要

- (1) 予算額 4,377千円
- (2) 財源 全額特定財源（県営電気事業みやざき創生基金）
- (3) 事業期間 平成29年度～平成31年度

(4) 事業内容

- ① チームサポート強化事業
メンタルコーチ、トレーナー、栄養士等によるチームサポート
・実施主体 宮崎県高等学校野球連盟（補助率 定額）
- ② パフォーマンスアップ支援事業
投手、中軸打者に対する科学的な身体能力測定や動作分析等
・実施主体 宮崎県高等学校野球連盟（補助率 定額）
- ③ 県中学生選抜チーム支援事業
全国大会出場への支援
・実施主体 宮崎県中学校体育連盟（補助率 1/2）

3 事業効果

- (1) 野球技術のレベルアップに加え、メンタル面、メディカル面、栄養面のサポートをより一層充実させることにより、全国的規模の大会における本県チームの競技成績の向上が期待できる。
- (2) 甲子園優勝を目指した取組は、次代を担う小・中・高校生に夢を抱かせるとともに、県民に感動や活力、勇気や夢を与えることができる。

⑧ ひなた文化資源創出事業（文化財を活用した地域づくり）

1 事業の目的・背景

県内各地にある文化財と観光資源をつなぎ合わせ、地域の歴史や文化を表現した「ストーリー」を作成し、文化庁が認定する「日本遺産」を目指すとともに、東京オリンピック・パラリンピックや2巡目国体等に向け、国内外に誇るブランドとして情報発信を行い、観光客の誘導を図る。

また、新たに掘り起こされた文化財の評価を行い、更なる文化財の保護・啓発につなげる。

2 事業の概要

(1) 予算額 3,396千円

(2) 財源 全額特定財源（県営電気事業みやざき創生基金）

(3) 事業期間 平成29年度

(4) 事業内容

① ストーリーの検討・作成

- ・県関係部局や市町村の観光・地域振興担当課などと連携して検討
- ・アドバイザー（文化庁調査官等）によるストーリー構成資産調査（未指定文化財等の調査）

② 情報発信

- ・スマートフォンに対応した「みやざき文化財情報」のホームページ改良
- ・ストーリーの情報や周遊ルート等の誘導ナビゲーションの作成

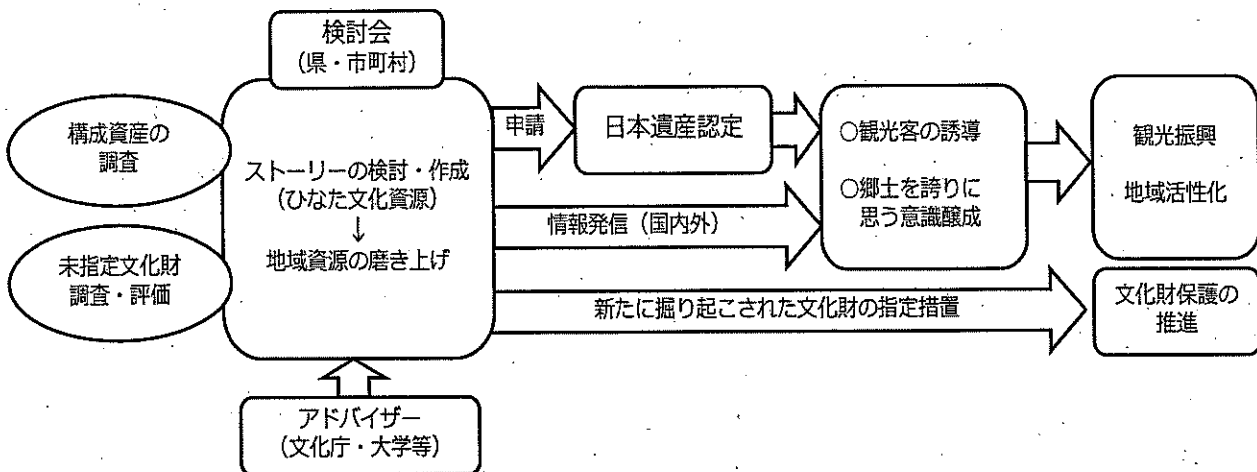
3 事業効果

(1) ストーリーの検討・作成を通して、地域の魅力や価値に対する地元住民の理解が深まり、郷土を誇りに思う気運を醸成することができる。

(2) ストーリー設定により、今まで知られていなかった地域の歴史や特徴などの情報を、より効果的に発信し、観光客等の誘導を促すことにより、観光の振興や地域づくりに寄与することができる。

(3) 県内各地域の新たな文化資源の掘り起こしにより、文化財の保護が推進できる。

⑤ ひなた文化資源創出事業（文化財を活用した地域づくり）



○（参考）日本遺産

1 主旨

平成27年度から始まった文化庁の事業で、文化財を従来の保存優先ではなく、観光資源との活用を図るもので、様々な文化財と名勝や祭りや食文化などと組合せ、外国人にもわかりやすいストーリーを作成、発信して観光や地域振興を図る。

2 概要

- (1) 認定件数 2020年までに全国で100件認定 ※現在37件認定
- (2) 予算 平成27年度が約8億円、28年度が約13億円 ※国からの交付金
- (3) その他
 - ① スケジュール 年1回文化庁が都道府県を通じて公募
 - ② 申請書類 ストーリーと関連資料、地域活性化計画

3 認定例

- (1) タイトル
日本最大の海賊の本拠地：芸予諸島
—よみがえる村上海賊 Murakami KAIZOKU の記憶—
- (2) 構成自治体
今治市（愛媛県）・尾道市（広島県）
- (3) ストーリー概要
戦国時代、宣教師ルイス・フロイスをして“日本最大の海賊”と言わしめた「村上海賊」“MurakamiKAIZOKU”。
理不尽に船を襲い、金品を略奪する「海賊」（パイレーツ）とは対照的に、村上海賊は捷に従って航海の安全を保障し、瀬戸内海の交易・流通の秩序を支える海上活動を生業とした。
その本拠地「芸予諸島」には、活動拠点として築いた「海城」群など、海賊たちの記憶が色濃く残っている。尾道・今治をつなぐ芸予諸島をゆけば、急流が渦巻くこの地の利を活かし、中世の瀬戸内海航路を支配した村上海賊の生きた姿を現代において体感できる。

めざそう神楽の世界無形文化遺産！みやざきの民俗芸能活性化事業

1 事業の目的・背景

神楽のユネスコ無形文化遺産の登録を目指して、調査研究や映像記録、情報発信を行うとともに、県外の国指定神楽保存団体との連携を進める。

また、県内の民俗芸能の保存・継承のため、体験事業や継承者の育成・支援を行う。

2 事業の概要

(1) 予算額 11,596千円

(2) 財源 一般財源 9,316千円
芸術文化振興基金助成金 2,280千円

(3) 事業期間 平成28年度～平成32年度

(4) 事業内容

① めざそう世界無形文化遺産！みやざきの神楽魅力発信事業

ア 県内外の有識者で構成する神楽魅力発信委員会による調査・研究を進め、基礎資料の蓄積を行う。

イ 神楽の映像を県庁ホームページに公開し、県内外に本県の神楽の魅力を発信する。

ウ 県外の神楽団体との連携を進め、ユネスコ無形文化遺産の登録に向けた推進体制の構築を図る。

② 文化財伝承活動支援事業

ア 民俗芸能保存団体等が行う継承者の育成や用具整備等を支援する。

・実施主体 民俗芸能保存団体、文化財愛護少年団等（補助率 1/2以内）

イ 文化財愛護少年団との交流活動、並びに民家園を活用した民俗文化体験事業を実施し、ふるさと宮崎への愛着や誇りを育む。

3 事業効果

(1) 神楽の映像を県庁ホームページに公開することで、県内の神楽の価値が再認識され、保存・継承の促進及び神楽を支える県民意識の醸成が図られる。

(2) 九州管内の国指定の神楽保存団体が連携し、国内外に神楽の魅力をアピールすることで、ユネスコ無形文化遺産の登録に向けた推進体制の構築が図られる。

(3) 民俗芸能の学びや体験を通して、県民が郷土の民俗文化に対する理解を深め、ふるさと宮崎への愛着や誇りを育むことができる。

平成29年2月定例県議会提出議案（平成29年度当初分）の概要

特別議案の概要

○ 知事等の給与及び旅費に関する条例等の一部を改正する条例

通勤実態等を踏まえ、一般職の自動車に係る通勤手当を見直すとともに、常勤の特別職について、国の状況等を踏まえ、一般職の例により通勤手当を支給するため、関係規定の改正を行うものである。

○ 公立大学法人宮崎県立看護大学の設立に伴う関係条例の整理に関する条例

公立大学法人宮崎県立看護大学の設立に伴い、県の条例から宮崎県立看護大学に関する規定の削除等を行う条例を制定するものである。

○ 宮崎県育英資金貸与条例の一部を改正する条例

宮崎県育英資金の延滞利息の利率を引き下げるため、関係規定の改正を行うものである。

(議案第49号)

平成28年度宮崎県一般会計補正予算(第8号)

(議案第60号)

平成28年度宮崎県育英資金特別会計補正予算(第1号)

(▲は、マイナス)【単位：千円】

会計	所 属	補正額	補正前の額	補正後の額	補正後比率	主 な 増 減 内 容
一 般 会 計	総 務 課	▲ 18,760	3,267,448	3,248,688	99.4%	教育研修センター費(▲3,089) 職員費(▲12,536)
	財 務 福 利 課	▲ 219,184	7,185,516	6,966,332	96.9%	維持管理費(▲41,227) 高等学校就学支援事業費(▲110,819) 文教施設災害復旧費(▲23,220)
	学 校 政 策 課	▲ 76,305	567,622	491,317	86.6%	学力向上推進費(▲24,534) 指導者養成費(▲28,092) 産業教育振興費(▲11,133)
	特別支援教育室	▲ 30,329	110,800	80,471	72.6%	特別支援教育振興費(▲30,329)
	教 職 員 課	▲ 2,249,026	94,499,790	92,250,764	97.6%	教職員人事費(▲160,384) 退職手当費(▲444,432) 学校職員費(▲1,629,516)
	生 涯 学 習 課	▲ 17,581	543,796	526,215	96.8%	成人青少年教育費(▲5,163) 美術館費(▲5,971) 美術館普及活動事業費(▲5,030) 美術品等取得事業(8,518)
	ス ポ ー ツ 振 興 課	1,027	994,104	995,131	100.1%	健康教育指導費(▲5,124) 学校安全推進費(15,000)
	文 化 財 課	▲ 201,583	719,258	517,675	72.0%	文化財保護顕彰費(▲8,706) 埋蔵文化財保護対策費(▲183,508)
	人権同和教育室	▲ 1,074	9,244	8,170	88.4%	人権教育総合企画費(▲954)
	合 計	▲ 2,812,815	107,897,578	105,084,763	97.4%	
特 別 会 計	財 務 福 利 課 (県立学校実習事業)	0	208,369	208,369	100.0%	
	財 務 福 利 課 (育英資金)	385,951	1,275,550	1,661,501	130.3%	育英資金貸与事業(385,951)
	合 計	385,951	1,483,919	1,869,870	126.0%	
	総 計	▲ 2,426,864	109,381,497	106,954,633	97.8%	

1 0 1 - 1 5 0 3

平成29年 2月 日

宮崎県知事 河野 俊嗣 殿

宮崎県教育委員会

県議会に提出する教育に関する事務に係る議案について (回答)

平成29年2月3日付け215-1310で照会のあった標記については、
異議ありません。

(文書取扱 教育庁総務課)